

研究協力をお願い

昭和大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

糖尿病合併大腿骨頸部骨折患者におけるリハビリテーションと糖尿病治療薬使用が再入院率へ与える影響	
1. 研究の対象および研究対象期間	日本国において2017年4月～2020年3月に入院記録がある患者様
2. 研究目的・方法	<p>超高齢化に伴い介護費用は年々増加しており、要介護者（要支援者）の数は過去20年で2.6倍に増加しています。介護が必要となる原因として、転倒などによる大腿骨頸部骨折が多いことが知られています。</p> <p>大腿骨頸部骨折後は、主に外科的治療を目的とした入院が必要となるため、その後の生活に戻るためのリハビリテーションが重要です。超高齢社会の中、複数の合併症を持つ患者が増加しており、特に高齢者においては糖尿病の合併が多く見られます。この疾患やその治療がリハビリテーションの成果に影響を及ぼす可能性があります。近年の研究では、糖尿病薬の一部、特にSGLT2阻害薬が、運動による筋肉への改善に良い影響を与えることが報告されています。</p> <p>SGLT2阻害薬は糖尿病患者の筋肉に直接的な影響を与える可能性が示唆されていますが、大腿骨頸部骨折患者のリハビリテーションに対するこれらの薬剤の影響についてはまだ十分に明らかになっていません。</p> <p>本研究では、SGLT2阻害薬が大腿骨頸部骨折後のリハビリテーションを受ける患者に与える影響を評価し、リハビリテーションの実施において有益な情報を提供することを目的としています。</p>
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	レセプトから以下の情報を取得する。 年齢、性別、現病歴、依存症、骨折タイプ、手術方法、薬剤、入院料情報、診療算定項目等
5. 外部への試料・情報の提供	該当しません
6. 研究組織	研究代表者 研究機関名 昭和大学 薬学部健康薬学講座薬剤疫学学部門 氏名 谷 拓朗

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学 薬学部健康薬学講座薬剤疫学学部門

氏名：谷 拓朗

住所：142 8555 東京都品川区 旗の台 1 - 5 - 8

電話番号：03 3784-8091